

プランクトン調査結果のお知らせ

平成25年6月18日14時半から野見・須崎湾の調査を実施しましたので、結果をお知らせします。
 検鏡の結果、有害種カレニア・ミキモトイは大幅に減少していましたが、防波堤内側ではやや多く確認されています。今後の動向に注意してください。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

有害プランクトン (cell/ml)

	水深	カレニア・ミキモトイ	ディクチオカ・フィビュラ	ケラチウム・フルカ
湾奥ブイ	0m	5	0	0
	2m	2	0	0
	5m	0	2	0
大室戸	0m	0	0	0
	2m	0	0	0
	5m	0	0	0
大長岬	0m	0	0	0
	2m	0	0	0
	5m	0	2	0
勢井	0m	0	0	0
	2m	0	0	0
	5m	0	0	0
ガラク	0m	0	0	0
	2m	0	0	0
	5m	0	0	0
津波防波堤内側	0m	53	0	1
	2m	39	0	0
	5m	9	0	0

漁業被害が想定される細胞密度

- カレニア・ミキモトイ： 数百～数千cells/ml(へい死)
- ディクチオカ・フィビュラ： 赤潮発生時(へい死)
- ケラチウム・フルカ： 100cells/ml(餌食いの悪化)